第 71 回関東地区高等学校ＰＴＡ連合会大会

# 埼玉大会会報

令和７年７月11日(金)･12日(土)

# 第 71 回　埼玉大会スローガン

## メインテーマ

# 対話を通し明日を拓くＰＴＡ

～ Ｐポジティブに　Ｔ対話を重ね　Ａ明日を拓く ～

## サブテーマ

１　学校、家庭、地域が相互に対話を深め、相互理解に基づき、主体的・協力的にともに考えるＰＴＡ活動を推進します。
２　自他の個性、人権、文化、生命を尊重し、多様性を認め受容する思考と行動ができる心豊かな青少年の育成を支援するＰＴＡ活動を推進します。
３　世代、ジェンダー、信条、障害の有無、人種、国籍を越えるつながりを深め、新たな発想で時代を拓く青少年の育成を支援するＰＴＡ活動を推進します。

表紙の写真　『ヒマワリ咲く見沼田んぼとさいたま新都心ビル群』

見沼田んぼは、さいたま市と川口市にまたがる大規模緑地の総称です。穏やかな自然と新都心のビル群が織りなす景観は、都会では珍しい美しい対比を生み出しています。遊休耕作地を活用したひまわり畑が景観保全の一環として整備され、芝川の近くに立つ象徴的な大きなポプラの木もまた、見沼田んぼの風景を印象づける存在です。

### 風景写真家　佐藤　尚さんプロフィール

全国を車中泊で巡り農村・自然を撮影する埼玉県在住の写真家。特に魚沼と見沼田んぼ撮影がライフワーク。地域のつながりを育む写真ワークショップ「里ほっと」を埼玉県で主宰する。代表写真集「47 サトタビ」「こころの故郷」「japan」のほか、雑誌・カレンダーの作品発表も多い。日本風景写真家協会会員。

# 目　　次

## 第７１回関東地区高等学校ＰＴＡ連合会大会埼玉大会


大会開催要項　・・・・・・２

主催者あいさつ　・・・・・・５

共催者あいさつ　・・・・・・６

大会宣言文　・・・・・・７


## 大会１日目


分科会日程　・・・・・・８

映像アトラクション作品紹介　・・・・・・９

第１～５分科会　・・・・・１１

第５分科会　講義（齋藤　幸男氏）資料　・・・・・１８


## 大会２日目


全体会日程　・・・・・２０

記念講演　・・・・・２２

参加者数内訳　・・・・・２４

編集後記　・・・・・２５

# 第７１回関東地区高等学校ＰＴＡ連合会大会埼玉大会　開催要項

１　趣　旨　　関東地区高等学校ＰＴＡ連合会の会員が一堂に会し、健全でたくましい心身と優れた知性をもち、創造性に富み国際感覚豊かな青少年を育成するため、各県におけるＰＴＡ活動についての意見や情報を交換し、高等学校、付属中学校、中等教育学校及び特別支援学校のＰＴＡの望ましいあり方を探求し、新しい時代の学校教育の充実と発展に資する。

２　主　催　　関東地区高等学校ＰＴＡ連合会

３　共　催　　（一社）全国高等学校ＰＴＡ連合会

４　主　管　　埼玉県高等学校ＰＴＡ連合会

５　後　援　　埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、
埼玉県高等学校校長協会、
（公財）日本教育公務員弘済会埼玉支部
（一財）埼玉県高等学校安全振興会

６　参加者　群馬県、茨城県、山梨県、神奈川県、栃木県、千葉県、埼玉県の各高等学校、附属中学校、中等教育学校、特別支援学校ＰＴＡ会員

７　日　程　分科会　令和７年７月１１日（金）　会場：大宮ソニックシティ（ホール棟・ビル棟）
全体会　令和７年７月１２日（土）　会場：大宮ソニックシティ（ホール棟）

| 区分 | | 期日 | 時程 | 行事内容 | 会場 |
|---|---|---|---|---|---|
| 大会 | 役員会 | 令和７年<br>７月<br>11 日<br>（金） | 11：00～ | 大会運営会議 | 大宮ソニック大ホール<br>楽屋 |
| | 分科会 | | 12：30～<br>13：15～<br>14：00～<br>16：00 | 受付<br>映像ｱﾄﾗｸｼｮﾝ<br>分科会<br>閉会 | 大宮ソニック<br>ホール棟およびビル棟 |
| | 全体会 | 令和７年<br>７月<br>12 日<br>（土） | 8：45～<br>9：20～<br>9：50～<br>１１:00～<br>１２:２０ | 受付<br>舞台ｱﾄﾗｸｼｮﾝ<br>大会行事<br>記念講演<br>閉会 | 大宮ソニック<br>大ホール |

※ 教育視察ツアーは実施しません。

## ８　記念講演

「ⓒ新潮社」

演　　題

「対話を終わらせないために」

講　　師

第１７０回芥川龍之介賞受賞作家

九段　理江　氏

【講師紹介】

1990 年、埼玉県生まれ。2021 年、「悪い音楽」で第 126 回文學界新人賞を受賞しデビュー。同年発表の「Schoolgirl」が第 166 回芥川龍之介賞、第 35 回三島由紀夫賞候補に。2023 年３月、同作で第 73 回芸術選奨新人賞を受賞。11 月、「しをかくうま」で第 45 回野間文芸新人賞を受賞。2024 年１月、「東京都同情塔」で第 170 回芥川龍之介賞を受賞した。

## ９　分　科　会

| 分 科 会 | 領　域 | 提案発表校 | | ソニック内会場<br>（収容人数） |
|---|---|---|---|---|
| 第１分科会 | 学校教育とＰＴＡ | 埼玉県<br>群馬県 | 熊谷商業高等学校<br>渋川青翠高等学校 | 第１展示場<br>（５６０） |
| 第２分科会 | 組織の活性化とＰＴＡ | 神奈川県 | 麻生高等学校 | 大ホール<br>（１５００） |
| | 進路指導とＰＴＡ | 栃木県 | 佐野高等学校・同付属中学校 | |
| 第３分科会 | 生徒指導とＰＴＡ | 山梨県 | 甲府西高等学校 | 市民ホール<br>（３６０） |
| | 地域連携とＰＴＡ | 神奈川県 | 大磯高等学校 | |
| 第４分科会 | 家庭教育とＰＴＡ | 千葉県<br>茨城県 | 九十九里高等学校<br>鬼怒商業高等学校 | 第２～５展示場<br>（３３０） |
| 第５分科会 | 防災とＰＴＡ | 埼玉県<br>講義 | 大宮武蔵野高等学校<br>「災害時、避難所となる<br>学校で起きること」 | 小ホール<br>（４８０） |

## １０　参加費

全日制　　：４，５００円
定時制（通信制）　：２，３００円
特別支援学校　　：２，３００円

# 主 催 者 代 表 式 辞

関東地区高Ｐ連大会埼玉大会実行委員長　沼澤　早苗

皆さん、ようこそ第 71 回関東地区高等学校ＰＴＡ連合会大会　埼玉大会にお越しくださいました。主催者及び埼玉県高Ｐ連スタッフを代表し、皆さまに歓迎の意を表すると共に一言ご挨拶申し上げます。

本日は、大変ご多用の中、埼玉県知事　大野　元裕　様、埼玉県教育委員会副教育長　佐藤　卓史　様をはじめとするご来賓の皆さまのご臨席を賜り、埼玉大会がこのように盛大に開催できますことに感謝申し上げます。また、関東各県より多くのＰＴＡ役員の皆様、校長先生をはじめ教職員の皆様のご出席をいただき　まことにありがとうございます。

大会要項５ページの大会宣言文にもありますように、この地球上では、色々なことが起き、色々なことが目まぐるしく変化しています。そして、私たち PTA を取り巻く環境や社会も目まぐるしく変化しています。そんな変化に対応していくために必要なものの一つが、本大会のメインテーマ「対話」です。

年に一度の関東大会は、関東地区７県の PTA が一堂に会する機会であり「対話を深めるビックチャンス」です。悩みながら、迷いながら PTA 活動をしている方も、近くの方とのお話を通して、解決の糸口など新しい発見があるかもしれません。ぜひ、保護者同士はもちろんのこと、先生方ともお話してください。この限られた２日間という時間では、深い対話は難しいかもしれませんが、後日、各校の PTA の中で対話ができるような、そんなきっかけだけでも持ち帰ってもらえたら嬉しいです。

そして、私たち一人ひとりが、子どもにとっても、学校にとっても、PTA にとっても、関東高Ｐ連にとっても、必要な存在だということを再認識していただきたいと思います。みなさまのおかげでこんなに素敵な大会を開くことができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

最後になりましたが、本大会がみなさまにとって有意義な大会となりますように、そして分科会や対話を通して得た成果を各校の PTA 活動に反映させていかれますことを祈念いたしまして、埼玉大会実行委員長の挨拶とさせていただきます。

# 共 催 者 あ い さ つ

（一財）全国高等学校ＰＴＡ連合会会長　田名部　智之

ご参加の皆様におかれましては日頃よりPTA活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。言う迄もなくPTAは学校と家庭、地域社会を繋ぐ重要な橋渡し役を担っています。私たちの活動が、生徒達の健全な成長を支える基盤となることを信じ、それぞれが日々努力を重ねている内容を意見交換し会員相互の交流と連携を図るのが地区大会の目的です。

本大会が、埼玉県さいたま市で盛大に開催される事を嬉しく思います。この地に関東地区各校から、多くの保護者、教職員の皆様、そして地域の代表者が一堂に会し、未来を担う若者たちのために協力し合えることを大変意義深く思います。埼玉大会の趣旨『健全でたくましい心身と優れた知性を持ち創造性に富み国際感覚豊かな青少年を育成するため』は、ここ関東で育った若者がこの混沌とした時代において、大いに活躍する支えになりたいと願う思いが感じられます。私たちPTAは学校と家庭、地域社会を繋ぐ重要な橋渡し役を担っています。生徒たちが自らの可能性を信じ、夢に向かって大きく羽ばたけるような環境を整えるため尽力してまいりましょう。

現在、直面している教育環境は多くの課題があります。少子化による学校の統廃合、情報化社会に伴う生徒の心身の健康問題、コロナ禍以降の新たな運営方法、そして、先生方の働き方改革など、これらは一つ一つが重要かつ緊急に対応すべき課題です。私たちはこれらの課題に単位PTAだけでは無く、市町村PTA、県や関東地区PTAが連動し、地域全体の大きなチカラで未来を担う若者たちが健やかに成長できる環境を築いていくことが私たちの使命であると考えています。どうか今後、我々PTAの活動が更なる進化を遂げ「PTA不要論」のようなネガティブな風潮が消し飛ぶような素晴らしい活動に進化できるよう研鑽してまいりましょう。

最後に、本大会を開催するに当たり、ご尽力いただきました、埼玉県高等学校PTA連合会、主催の関東地区高等学校PTA連合会、ご後援いただきました埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、埼玉県高等学校長協会、（公財）日本教育公務員弘済会埼玉支部、（一財）埼玉県高等学校安全振興会、ご協力いただきました全ての皆様へ御礼を申し上げますとともに、本大会が実り多いものとなり、関東地区高等学校PTA連合会、各高等学校PTAが、益々発展されますことを心から祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

# 第71回関東地区高等学校ＰＴＡ連合会大会埼玉大会　大会宣言文

新型ウイルス感染症、長引く地域紛争、地球規模の異常気象・地殻変動、人類を凌駕する人工知能など、これまでにないことが起こっています。ネット上の情報はあまりにも多様で、私たちは「何を信じ、何が正しいのか」と混乱してしまいます。ウイルスも紛争も災害も情報も「世界はこんなに繋がっている」と教えてくれます。様々な困難に立ち向かうため、あらゆる情報を取捨選択する力を養い、正しい理解に基づき共に助け合い、支え合うことの必要性を痛感します。今私たちは、歴史の転換点にいるのかもしれません。

学校現場では、予測困難な社会にあふれる課題解決に対応できる人材育成のために「主体的な学び」への変革を進めています。「主体的な学び」とは、目的意識をもって知識や思考の重要性を認知し、好奇心を膨らませ感覚や発想を広げ、多様な行動に発展させていく学びです。しかし一方で、この独創性あふれる「主体的な学び」だけでは、時に自己中心的な解釈に陥ってしまう懸念があります。そこで、多様性が進む現代では、主観的な自己解釈に客観性を加えていく「対話的な学び」の重要性が増しているのです。

「対話に努める」という言い回しがあるように、「対話的な学び」は簡単ではありません。近年の国際社会では、自国主義の拡大が国家間の対話を阻み、対立構造が進むことが危惧されています。このことから「対話が対立を際立たせる」のではなく「対話なき故に、対立が生まれる」ことがわかります。
一方、コロナ禍では、国境を越えたあらゆる分野の対話により、多角的な連携や対策が模索されました。このことから、予測困難な社会の課題解決には、対話力の向上がカギであることがわかります。

急速に進む情報化のなかで、ＳＮＳに傷つき、ネット情報に戸惑い、リアルな会話に疲れている事例も増えています。私たちは、この混迷の時代を生き抜いていかなければなりません。将来ある子どもたちに新たな学びの意義を伝えていく大切な役割を担っています。このことから「集い、対話を通して、理解を深め進んでいく」ことを本大会のテーマといたしました。「対話を通して相互理解を深め、前を向いて行動するＰＴＡ」を目指して、以下に掲げる事項に取り組むことを宣言します。

１　学校、家庭、地域が相互に対話を深め、相互理解に基づき、主体的・協力的にともに考えるＰＴＡ活動を推進します。

２　自他の個性、人権、文化、生命を尊重し、多様性を認め受容する思考と行動ができる心豊かな青少年の育成を支援するＰＴＡ活動を推進します。

３　世代、ジェンダー、信条、障害の有無、人種、国籍を越えるつながりを深め、新たな発想で時代を拓く青少年の育成を支援するＰＴＡ活動を推進します。

大 会
1日目

# 分　科　会　日　程

期日　令和７年７月１１日（金）

## 【　会　　場　】

第１分科会：ソニックシティビル　Ｂ１Ｆ　第１展示場
第２分科会：ソニックシティ　大ホール
第３分科会：ソニックシティビル　４Ｆ　市民ホール
第４分科会：ソニックシティ　小ホール
第５分科会：ソニックシティビル　Ｂ１Ｆ　第２～５展示場

## 【　日　　程　】

１２：３０　受　付
１３：１５　映像アトラクション
１４：００　開　会

〈 第１～４分科会 〉

委員長あいさつ　発表者等紹介
発 表 １
質疑応答
発 表 ２
質疑応答
講　評

〈 第 ５ 分 科 会 〉

委員長あいさつ　発表者等紹介
発表１
質疑応答
講義「災害時、避難所となる学校で起きること」
質疑応答

１６：００　閉会のことば

# 映像アトラクション　作品紹介

タイトル「ひかり」　　県立川越南高等学校放送部

令和６年度関東地区高校放送コンクール　優良賞

私たち放送部は、「大会に参加する」「学校に貢献する」「地元に貢献する」の３つの柱を軸に、活動しています。苦労もありますが、部員同士仲良く、楽しく日々の練習や作品作りに励んでいます。

この作品は、川越市に住むひょうたんランプ製作者の木村さんを取材したものです。観光地で有名な蔵造の通りに、「ひょうたんランプ」のお店がひっそりと佇んでいます。そのランプの美しさと柔らかい光は、道行く人を魅了します。それを制作する木村さんの人柄とともに、ひょうたんランプの美しさを多くの方に知ってほしいと思い制作しました。

秋のコンクールは、地元の良さを全国に伝えることがテーマなので、取材では地元の方々の優しさに触れ、いつも感謝の気持ちでいっぱいになります。

タイトル「出会いの輪」　　県立小川高等学校グローカルメディア研究部

令和６年度全国高校総合文化祭　出品作

埼玉県小川町で「まちやど」を運営している高橋かのさんを取材しました。「まちやど」とは、町内の小さなエリアを１つの宿と見立てて、宿泊場所を寝室、飲食店を食堂、銭湯を浴場、雑貨屋、案内所を売店としてお客様に町内を巡っていただくという考えです。町を歩くと、さまざまな人との出会いがあります。

タイトル「見えなくなって視えたもの」　　県立川越女子高等学校放送部

令和５年度　第７０回 NHK 杯全国高校放送コンテスト　最優秀賞

私たち放送部は、行事の音響やお昼の校内ラジオに加え、大会に向けてアナウンス・朗読の練習や番組制作を行っています。部員は７人と少人数ですが、それぞれが目標を持ち、助け合いながら楽しく活動しています。

この作品は、昨年度卒業した先輩方が作った作品です。川越女子高校の図書館で司書をしている中西先生は目が見えませんが、明るく優しい人柄でたくさんの生徒に親しまれています。しかし、中西先生が失明してしまった経緯や、目が見えない中でどのように仕事に復帰したのか、何年司書を務めていらっしゃるのかは不明なままでした。放送部や在校生はもちろん、新入生にも中西先生の人柄や仕事を知ってもらいたいという思いから制作されました。このドキュメントを通して、中西先生の温かさを感じていただけたらと思います。

タイトル「ロボット」　　県立浦和高等学校放送部

第 71 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト創作テレビドラマ部門 準決勝進出

今回私たちは現代の教育に於ける「ロボット」をテーマに作品を作りました。「ロボット」とは、「従属」という言葉が語源になっています。学校生活の中で、志望校選びで、部活動で…。様々な場面で、生徒はときには理不尽とも思えるような「命令」を先生にされることがあります。はじめこそ自分の意志を貫く力と決意がありましたが、生徒は徐々に先生の言葉に素直に従うようになってしまいます。そして、個性を失った生徒は自分で考えることを放棄し、誰かの指示なしでは何もできなくなってしまうのです。その状態は、まさしく「ロボット」と言えるのではないのでしょうか。多様性が叫ばれる現代ですが、必要なものは昔から何一つ変わってはいません。しかし、それでもなお生徒の個性を無視し、先生は生徒のやりたいことではなく生徒ができることをさせてしまいがちです。いわれたことをただ実行する「ロボット」に新しい社会は創造できるでしょうか。未来は拓けるでしょうか。そんなことを考えて頂くためにこの作品を制作しました。

タイトル「聞いて。」　　県立松山高等学校映像制作部

令和４年度 NHK 杯全国高校放送コンテスト　　創作テレビドラマ部門　優勝

好きなことに自信を持てるというのは、とても難しいことです。不安や焦り、孤独感に苛まれ、それを手放してしまうこともあります。それでも、「なんとかしよう」と微かでも想いながら日々を生きることで見つけられるものがきっとあると思います。これはそんな想いから生まれた作品です。この作品は NHK 杯全国高校放送コンテストで全国優勝した、部にとって思い入れの強い作品です。

私たち映像制作部は、テレビドラマ、テレビドキュメント等の映像作品の制作を中心に、校内向けの映像制作、また自治体等の依頼で映像制作も行っており、幅広く活動しています。部員全員が良い映像を求めて熱心に制作に励んでおり、部員同士で協力しながら充実した活動を行っています。

タイトル「スラーヴァ」　　県立深谷第一高等学校放送部

令和６年度全国高等学校総合文化祭岐阜大会出品

埼玉県の県北上里町にある「上里菅原神社」。この３月に卒業した部員が高校入試の際に合格祈願で参拝した神社です。宮司の梅林正樹さん、テチャナさんご夫妻が地域の皆様のために日々お勤めをされています。テチャナさんはウクライナのご出身です。キーウ国立大学在学中に留学生の正樹さんに出会いました。正樹さんはテチャナさんとともに帰国後、ご実家の「上里菅原神社」結婚式を挙げられました。

テチャナさんは神官である正樹さんをサポートする中で、自身も神官として神社の仕事に取り組みたいと考え始めました。一ヶ月にわたる宿泊研修の後、外国人女性として初めて神官の資格を取得、正樹さんを支え、穏やかな日々が続いてきました。しかし２０２２年２月にロシアによる「ウクライナ侵攻」。正樹さんにとっても第二の故郷「ウクライナ」。心を痛めたお二人が神官として携わったのは・・・。お二人の平和への想いお聞きし、伝えようとこの作品を制作しました。

大 会
1日目

# 第 1 分 科 会 （学校教育とPTA）

第１展示場

【提案発表１】　「ＰＴＡの取組　～高校と連携したＰＴＡ活動～」

学校名　埼玉県立熊谷商業高等学校
進行役　校　長　竹越　利之
提案者　後援会顧問　庭田　千江

【提案発表２】　「高校教育の振興とＰＴＡ」

学校名　群馬県立渋川青翠高等学校
進行役　教　頭　小野　智信
提案者　ＰＴＡ会長　千明　竜也

【助言者】埼玉県教育局県立学校部保健体育課　主任指導主事　薬師寺　將二　様

| 大 会<br>1日目 | 第 2 分 科 会<br>（組織の活性化とPTA･進路指導と PTA） | 大ホール |
|---|---|---|

【提案発表１】　「立候補したくなるＰＴＡにするために」

学校名　　神奈川県立麻生高等学校

提案者　　ＰＴＡ会長・副会長・書記・会計

森山　弘子、　濱中　弘子、　山本　雅子、　金成　由紀子

内藤　聖子、　竹下　友子、　巻野　和美

【提案発表２】　「納得できる進路実現のために」

学校名　　栃木県立佐野高等学校・同附属中学校

進行役　　校　　長　　阿久津　如子

提案者　　ＰＴＡ総務部　　若林　　弥加

【助言者】埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課　指導主事　大場　拓八　様

| 大 会<br>1日目 | 第 3 分 科 会<br>（生徒指導とPTA・地域連携と PTA） | 市民<br>ホール |
|---|---|---|

【提案発表１】　「社会の中で自分らしく生きられる生徒の育成に向けて」

学校名　　山梨県立甲府西高等学校
進行役　　ＰＴＡ副会長　　河野　慎治
提案者　　ＰＴＡ会長　　神田　浩明

【提案発表２】　「HUB a Good Time　～産官学民をつなぐ青春応援隊！～」

学校名　　神奈川県立大磯高等学校
進行役　　ＰＴＡ会計　　青木　巴莉奈
提案者　　ＰＴＡ会長　　常盤　健嗣

【助　言　者】埼玉県教育局市町村支援部生徒指導課　指導主事　原　健太郎　様

大 会
1日目

# 第 4 分 科 会（家庭教育とPTA）

第2～5
展示場

【提案発表１】　「九十九里高校における家庭教育の取り組み」
学校名　千葉県立九十九里高等学校
進行役　校　長　中村　育生
提案者　ＰＴＡ会長　小栗山　公博

【提案発表２】　「学校と家庭をつなぐＰＴＡ活動」
学校名　茨城県立鬼怒商業高等学校
進行役　渉外部教諭　中嶋　龍
提案者　ＰＴＡ会長　藤田　聖子

【助言者】　埼玉県教育総務部生涯学習推進課　野口　和嵩　様

大 会
1日目

# 第 5 分 科 会 （防災とPTA）

小ホール

【提 案 発 表】　「防災とＰＴＡ」

学校名　埼玉県立大宮武蔵野高等学校

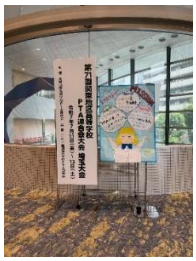
進行役　教　　頭　　柿澤　康明

提案者　ＰＴＡ会長　　豊嶋　伸次

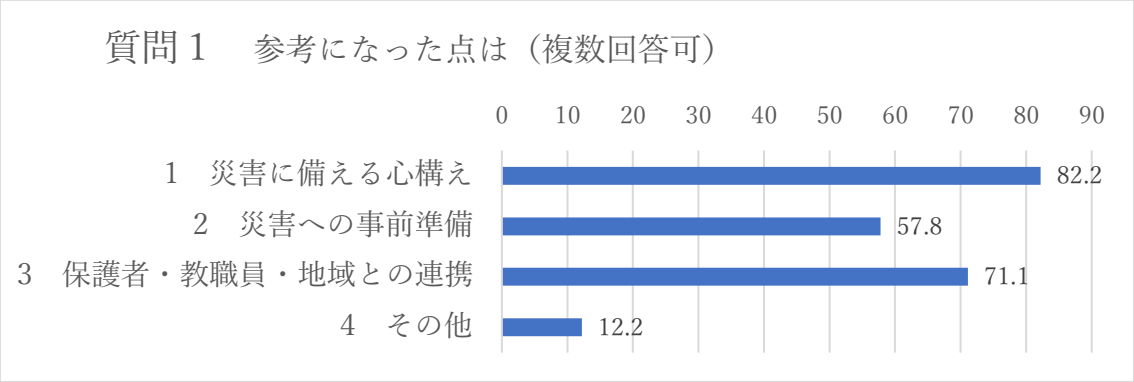
【講　　義】　「災害時、避難所となる学校で起きること」

講　師　　齋　藤　幸　男　　氏

（元宮城県石巻西高等学校校長・防災士）

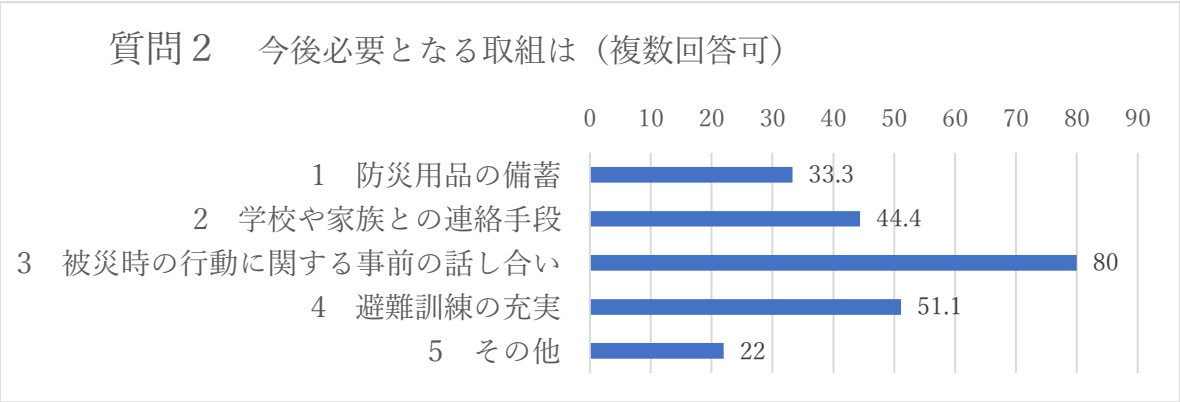


## 【第５分科会　アンケート集約】




【４　その他】の主な回答

- ○　ほかの方々にも聞いてほしい
- ○　縦割り組織は必要だが、縦割り意識は不要だということ
- ○　子どもの力、協力が大切なこと
- ○　「自分の地域が良ければ、いいわけではない」という言葉
- ○　実際の被災状況は、自分の想像と違っていたこと




【５　その他】の主な回答

- ○　先生の紹介した資料を公開してほしい
- ○　学校や避難所となり得る場所に携帯トイレを備えること
- ○　命の大切さ、希望をもつ意義
- ○　いざというときマニュアルを超える覚悟をもつこと
- ○　災害時の組織運営の再考
- ○　実際に経験した方の講演会、その後のグループワーク
- ○　地域の人々とコミュニケーションを図っておくこと
- ○　子どもと大人の対話

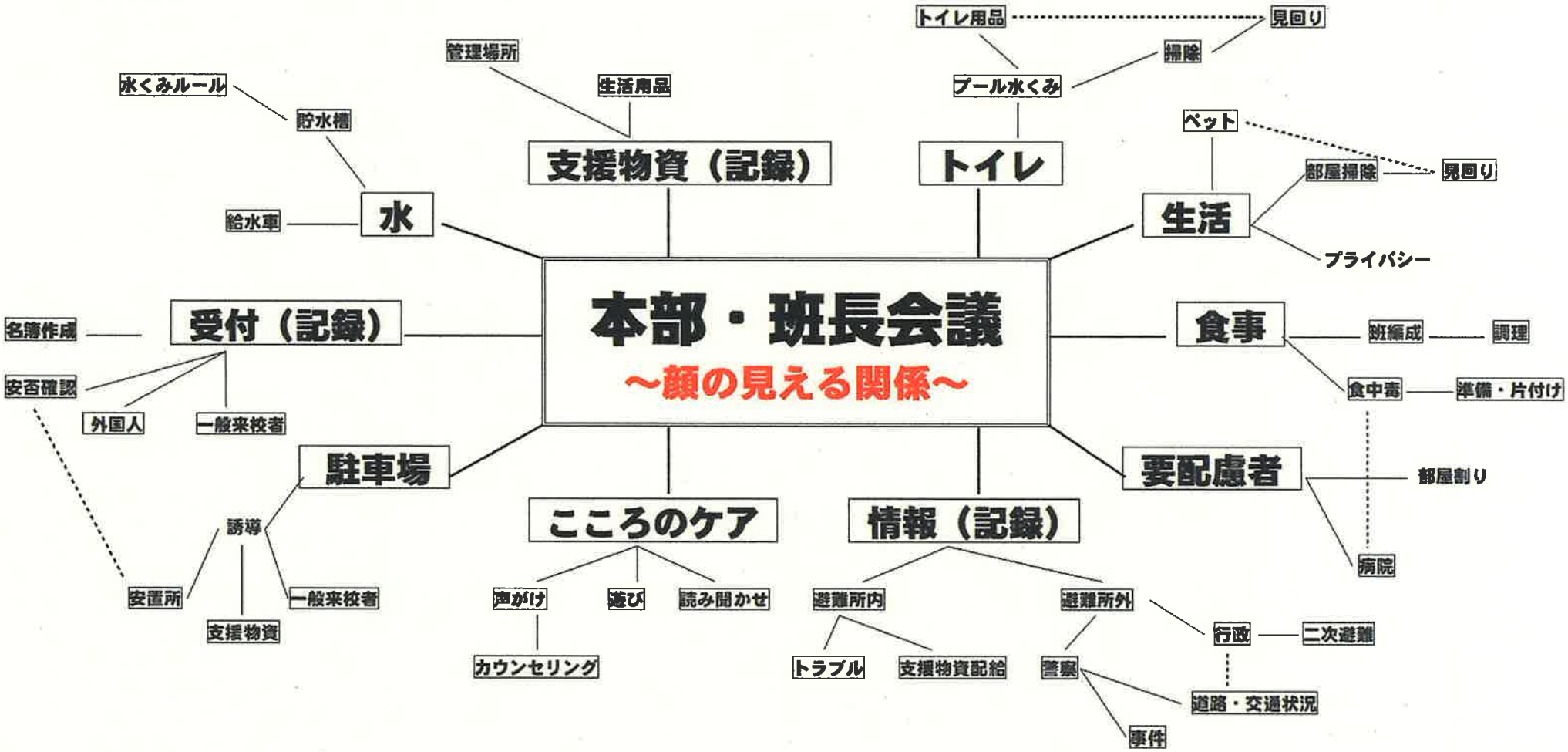
【講義の主な感想】

○ 子どもたちの考えや笑顔にどれだけ救われたかがとても強く伝わりました。本当に素晴らしいお話でした。
○ 胸に刻み込まれた。危機の中でも人の強さを感じた。絶望と希望は背中合わせ。
○ 学校だけでなく企業等にも縦割りでない役割分担図みたいな物があると良いなぁと思いました。
○ 講義中に先生が提示されていた避難所の組織図など、PTA 連合会の HP で共有いただけたらと思います。
○ 災害、避難生活など身近に感じられてない事に不安を感じました。日頃からの対話の大切さを痛感。
○ 知識は力なり。自分も周りの人も助ける事が分かりました、講演会の意義を私の職場でも伝えたいと思います。
○ 災害の中でも人を思いやる気持ちや行動がとても大切なのだと思いました。
○ とても真っ直ぐ伝わってきました。子も親も、全国民が聞くべきと思いました。
○ 発災直後から 1 週間の混乱期に起きることは経験者でないと想像が難しいので学ぶことが大切だと思います。
○ アレルギーをもつ子の親としてとても興味深く、また他人事でない思いを改めて強く感じる時間でした。
○ 実体験を踏まえた講演で、非常に説得力があり、あっという間の時間でした。
○ 指定避難所でなくても、学校には避難したくなるものだよなと。
○ もしもの時の人としての在り方、防災意識を改めて考える契機になりました。
○ ぜひ医療分野でも講演会・グループワークを実施していただきたいです。
○ 子供たちは地域の宝であると、再確認出来ました。
○ 防災意識は低いと感じます。防災教育が様々な学びに繋がる事がわかりました。
○ 会場を避難所に見立て、様々な問いに答えることを通じて、自分事として防災を考える事が出来た。
○ 臨場感あふれる貴重なお話でした。大変な世の中で不安ばかりでしたが、先生のお陰で希望が見えました。
○ 最初にやることは受付設定だと思いましたが…そこから先生のお話にガツンときました。
○ PTA のほか自治会でも組織図に関して役割を検討していけたらと感じました。
○ 大人の常識もある程度大切だけど、今、人道的に何が出来るかを考えて、皆が理解出来るように訓練したいと思う
○ 先生の講義は、被災時の具体的な問いを投げかけられることにより、自分ごととして捉えることができました。
○ 体験者の生の声をお聞きし、覚悟がまた少し持てたような気がします。

# 避難所運営図

## ～少しわがまま・共助・少しのガマン～

安心　　信頼




希望　　笑顔

# 「災害発生後の課題と対応」ＱＲコード（2024.7.17～）

## １．避難所運営

（１）避難場所と避難所はどう違うのかな？
（２）避難所は誰が運営するのかな？
（３）感染症の対策はどうするのかな？
（４）外国人や観光客の避難者は大丈夫かな？
（５）「**正解ではなく成解を求める**」とはどういうことなのかな？

## ２．学校支援

（１）教科書や文房具などの学用品はどうするのかな？
（２）授業や部活動はできなくなるのかな？
（３）生徒の心のケアはどうするのかな？
（４）家庭学習ができなくなった生徒はどうなるのかな？
（５）「**生徒を育てるのは生徒である**」とはどういうことなのかな？

## ３．生活再建

（１）経済面の支援はどうなるのかな？
（２）雇用の確保はどうなるのかな？
（３）仮設住宅から恒久住宅の確保はどうなるのかな？
（４）家財道具や電化製品はどうなるのかな？
（５）「**コミュニティの再生**」をどうするのかな？

## ４．仮設住宅

（１）仮設住宅は誰がどこにつくるのかな？
（２）仮設住宅の住み心地はどうなのかな？
（３）健康観察と心のケアはどうなるのかな？
（４）ひとり暮らしの高齢者はどうなるのかな？
（５）「**必要とされるよろこび**」とはどういうことなのかな？

## ５．がれき処理

（１）災害ごみと生活ごみの分別や処理はどうするのかな？
（２）がれき処理は誰がしてくれるのかな？
（３）がれきの再利用はできるのかな？
（４）ゴミによる健康被害はどうなるのかな？
（５）「**がれきはガレキではない**」とはどういう意味かな？

## ６．地域医療

（１）ＤＭＡＴ（災害派遣医療チーム）はどういう活動をするのかな？
（２）感染症、低体温症、エコノミークラス症候群はどうなるのか？
（３）お薬手帳がなくなったらどうするのかな？
（４）病院や開業医が被災してしまったらどうなるのかな？
（５）「**被災者に寄り添う**」とはどういうことなのかな？

## ７．支援物資

（１）必要な物資をどうやって知らせるのかな？
（２）必要でない物資が来たときはどうするのかな？
（３）支援物資の分配や保管はどうするのかな？
（４）道路が寸断されていたらどうやって運ぶのかな？
（５）「**ニーズとのマッチング**」とはどういうことなのかな？

## ８．災害ボランティア

（１）ボラセン（災害ボランティアセンター）て何かな？
（２）どうすれば被災地に行けるのかな？
（３）せっかく来てもらったけど何をしてもらおうかな？
（４）感染症（コロナ禍）などの制限はあるのかな？
（５）「**自己完結型支援**」とはどういうことなのかな？

大 会
2日目

# 全　体　会　日　程

大ホール
小ホール

８：４５　開　場・受　付
９：２０　アトラクション　　埼玉県立大宮高等学校　音楽部

９：４５　大会役員・来賓入場　　司　会　　大野　亜紀

９：５０　≪大 会 行 事≫
１　開会のことば　　大会実行委員会副委員長　澤田　　貢
２　国歌斉唱
３　主催者あいさつ　大会実行委員会委員長　　沼澤　早苗
（一社）全国高等学校ＰＴＡ連合会副会長　　中村　慎也

４　来賓祝辞　　埼玉県知事　　大野　元裕　様
埼玉県教育委員会副教育長　佐藤　卓史　様

５　来賓紹介

６　表彰状・感謝状授与
代表　千葉県高等学校ＰＴＡ連合会会長　榎本　　茂

７　次期大会開催県あいさつ
群馬県高等学校ＰＴＡ連合会会長　西脇　　保

１０：３０　８　閉会のことば　　大会実行委員会相談役　大竹　雅樹

〈　休　　憩　〉

１１：００　≪ 記 念 講 演 ≫
演　　題　　「対話を終わらせないために」
講　　師　　第１７０回　芥川龍之介賞受賞　九段　理江　氏
謝　　辞　　大会実行委員会部会長　　新井　康之

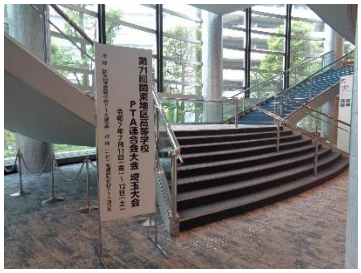
１２：２０　閉　　会

第71回関東地区高等学校PTA連合会大会 埼玉大会
対話を通し明日を拓くPTA ～子 ポジティブに T 対話を重ね A 明日を拓く～

司会

純文学系五大文芸誌
「対話を終わらせないために」

第71回関東地区高等学校PTA連合会大会 埼玉大会
対話を終わらせないために


第71回関東地区高等学校
PTA連合会大会 埼玉大会

# 記　念　講　演

演　　題　　「対話を終わらせないために」
講　　師　　第１７０回芥川龍之介賞受賞作家　　九段　理江　氏

【参加者の主な感想】

○ 作家さんの裏話が聞けて楽しかったです。飾らない言葉が、九段さんを表していると感じました。
○ 言葉にすると記憶が固定化、それが人によって異なる。言葉の大切さを改めて感じた。
○ 生徒の自己肯定感や承認欲求を理解するうえで、九段さんの生い立ち～受賞までの葛藤が参考になりました。
○ ガラスの様な雰囲気とタフさ、哲学的な要素を併せ持つ内容でした。周囲に対話をする意味を伝えたい。
○ 異なる価値観を協和させて行くことが対話であり、正解は無い。
○ 演題である「対話を終わらせない為に」の内容が少なかった。
○ 確信（正解）を持たない勇気、疑い問い続ける忍耐。
○ 言葉１つ１つが他とても興味深く楽しい時間でした。
○ 自分の内面や記憶との対話が大切ということかな
○ アウトプットの重要性、繋いで行きます！！
○ まとめの内容、自分も似た考えを持っていて共感できました。今一度人との接し方を見直せました。
○ 知識を得ればあるほど自分の経験に当てはめ、自分の言葉だけで解釈しないよう意識したいです
○ 言葉の選び方が丁寧で繊細で小説家を感じました。新鮮でした。感謝。
○ 結論づけることが全てでない、交わることのない考えを尊重して行きたいと思います。
○ 人は理解しやすく正解がある物語を好みがちだが、そうではないということ。
○ 自分の物語を持つというフレーズが、とても響く内容でした。
○ 正解を求め過ぎないこと、現時点での最適解を求め過ぎないことが特に心に残りました。
○ 本当に聞いて良かった。「対立を祝福」とは素晴らしい考えだと思った。

○ 家族を含め、自分以外の人間と心底理解し合うことなど不可能だと思う。だからこそ理解しようと努力する。
○ 文章を書くことがパソコンやタイピングから始まっているということが衝撃的でした。
○ 最初はどんな風に対話という題目をまとめるのか？と聴き進めていましたが、私的には最後に目から鱗でした！
○ 九段先生の正解を持たない純文学に救われる人がたくさんいると思います。貴重なお話ありがとうございました
○ 受け手の理想が語り手の本意と乖離してしまう事があるいうことに改めて気付かされました。
○ 対話を続けていく上で、自身のトラウマや経験がどの様に活かされるのか、または活かしていくべきなのか…
○ 芥川賞の説明が長く、宣伝しているようにしか聞こえませんでした。対話の話はよくわからなかったです。

○ 確信を持たない勇気が必要なこと。対立が生まれる事が豊かで祝福すべき事なんだと教えてもらいました。
○ 対話を行うには相互の素直さが必要
○ 他人は自分の都合よく、その人の物語を作る。それに抗う物語を作るという点がまさに対話だなと思いました
○ 演題となる対話を終わらせない為の内容が漠然として不明だった
○ “確信を持たない勇気”に激しく共感致しました。自分も、自分の思考も自分の身体も常に変化している。
○ 九段理江さんは、負けず嫌いで言葉を考え尽くしている方でした。純文学に触れてみたくなり、文學界を購入♪

## 県別・分野別　参加者数

| | | P連 | 群馬 | 千葉 | 神奈川 | 栃木 | 山梨 | 茨城 | 埼玉 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校数 | | 6 | 64 | 96 | 42 | 53 | 27 | 57 | 90 | 435 |
| 過程 | 全日制 | 21 | 307 | 267 | 114 | 140 | 71 | 207 | 426 | 1506 |
| | 定通特 | | 8 | 1 | 5 | 3 | 0 | 16 | 14 | 47 |
| 全体会 | | 21 | 251 | 228 | 106 | 115 | 67 | 183 | 353 | 1324 |
| 分科会 | 第１分科会 | 4 | 127 | 29 | 8 | 5 | 7 | 7 | 61 | 248 |
| | 第２分科会 | 7 | 50 | 53 | 31 | 78 | 7 | 58 | 74 | 358 |
| | 第３分科会 | 4 | 11 | 33 | 25 | 15 | 32 | 21 | 40 | 181 |
| | 第４分科会 | 4 | 40 | 64 | 11 | 10 | 7 | 79 | 46 | 261 |
| | 第５分科会 | 2 | 31 | 56 | 28 | 19 | 18 | 21 | 114 | 289 |
| 大会運営協力スタッフ | | | | | | | | | 422 | |
| | | | | | | | 参加者　総合計 | | | 2044 |

# 埼玉大会会報　編集後記

今夏の記録的猛暑のなか、埼玉大会２日間だけは最高気温２８℃という快適な天候に恵まれ、関東地区会員２０００名が参加する盛大な大会となりました。
本大会では、従来の大会運営を参考にしながらも、コンパクトな運営改善により、参加者および協力員の負担軽減を図る大会運営を模索してまいりました。

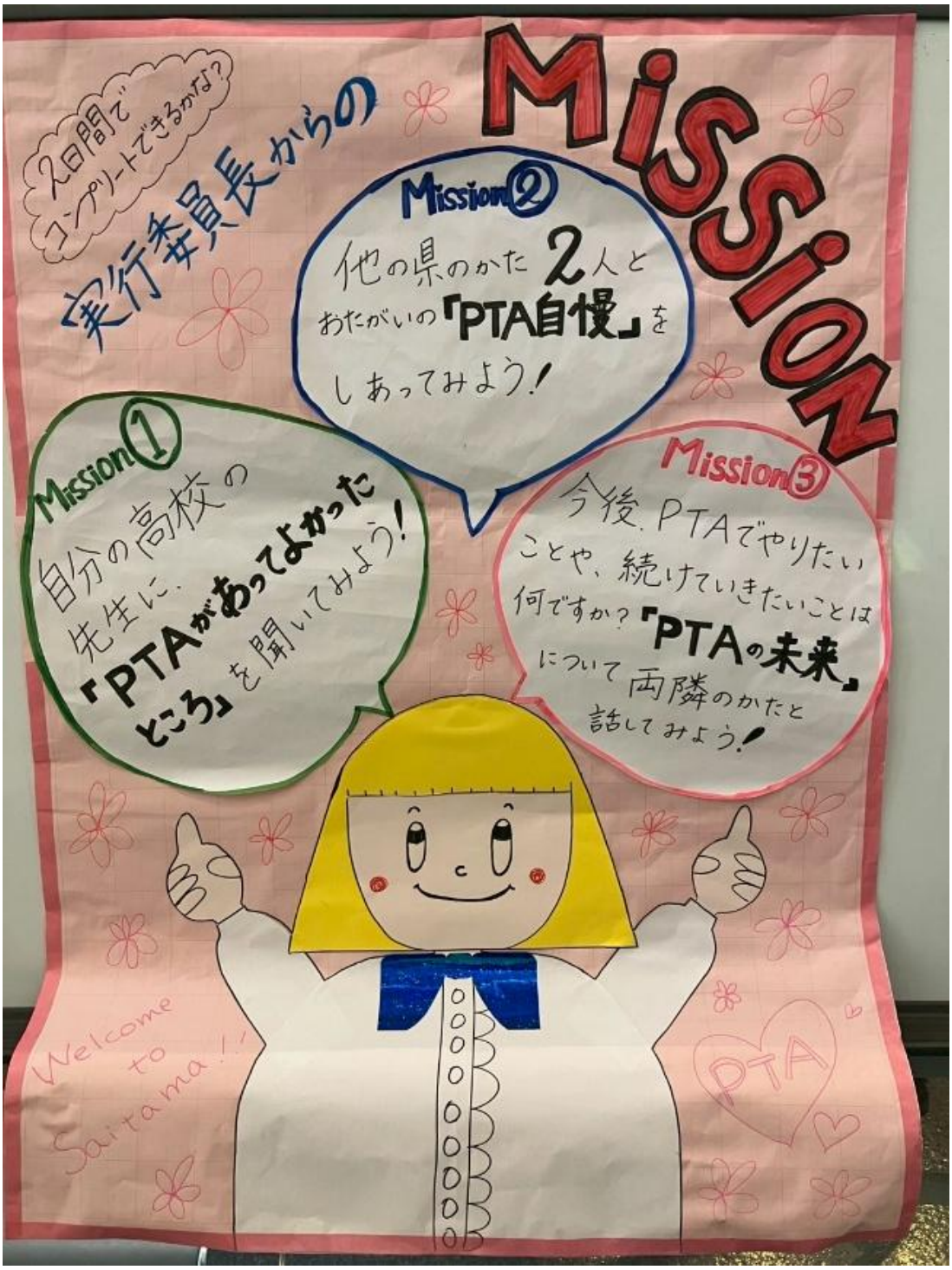
主な改善点は以下の通りです。①参加者への昼食弁当配付を廃し、参加費を値下げしました。受付・ゴミ回収等の業務軽減、参加費軽減のほか、食品ロス・食中毒の懸念排除、ゴミ削減にも効果的でした。②案内業務は会場周辺に限定し、駅からの案内は廃止しました。③ご来賓数を精査し、来賓受付・誘導業務を軽減しました。④大会式典次第をスリム化し、式典時間を短縮しました。⑤大会前日準備はアルバイト等を活用し、ＰＴＡ役員の負担を軽減しました。⑥協力員ユニフォームは「ビブス」にしました。サイズ合わせ業務削減のほか、大会後も各校ＰＴＡ活動での活用を期待しています。⑦分科会テーマを柔軟化し、各校独自の視点での実践発表を可能にしました。⑧約１６ヶ月の準備期間に開催した実行委員会の開催回数を、例年の会議数＋１回に抑えました。

また、より具体的な参加意識をもって大会に臨んでいただくため、大会テーマを「対話を通し明日を拓くＰＴＡ　～Ｐ　ポジティブに　Ｔ　対話を重ね　Ａ　明日を拓く～」としました。大会では、「対話的学び」の重要性を再認識する以下の３つの企画を実施しました。

まず、第５分科会では「防災とＰＴＡ」に焦点をあて、講義『災害時、避難所となる学校で起きること』（講師：石巻西高等学校　元校長　齋藤幸男氏）を行いました。生徒・教職員・保護者・地域が、日常的に考え対話を重ねておくべき多くの点を示唆していただき、大変好評でした。
次に、記念講演では『対話を終わらせないために』をテーマに、芥川賞受賞作家　九段理江氏にご講演いただきました。受賞作はＡＩを活用したことでも話題となりましたが、ＡＩとの対話も含め様々な視点からお話をいただきました。

さらに、実行委員長自作のポスター「大会実行委員長からのＭＩＳＳＯＮ」が各会場に掲示されました。「先生に『ＰＴＡがあってよかったところ』を聞いてみよう」「他県の方とお互いの『ＰＴＡ自慢』をしてみよう」「今後ＰＴＡでやりたいこと、続けたいことなど『ＰＴＡの未来』について両隣の方と話そう」の３つのミッションを掲げ、参加者に対話を促すよう呼びかけられ、大会テーマをより具体的に感じていただくことができたと思います。

大会中は、参加者の皆さまから多くの温かいお言葉を頂戴し、主管県の埼玉県連スタッフ一同、心から感謝申し上げます。本大会における情報共有や交流等を通して、各校ＰＴＡ活動がますます充実し、「学校教育の充実の支援」と「生徒の安全環境の整備」がますます深まることを祈念しています。


2日間でコンプリートできるかな?
実行委員長からの
Mission
Mission②
他の県のかた2人とおたがいの「PTA自慢」をしあってみよう!
Mission①
自分の高校の先生に、「PTAがあってよかったところ」を聞いてみよう!
Mission③
今後、PTAでやりたいことや、続けていきたいことは何ですか?「PTAの未来」について両隣のかたと話してみよう!
Welcome to Saitama!!
PTA

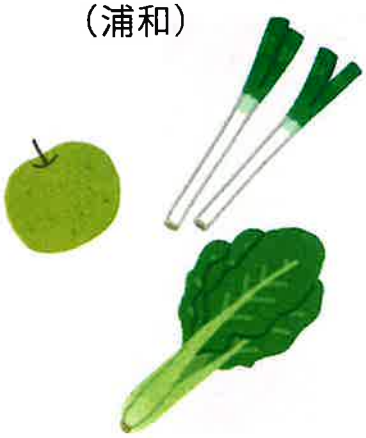
古代蓮（行田）

# 埼玉って面白い!!

かばじゃないよ。
パレオパラドキシアだよ。
（小鹿野）

うさぎさんの石像のある神社
（浦和）

埼玉にいることを忘れてしまう精美なお宮
（坂戸）



**モデルコースみてみてね！**

**☆実行委員長おすすめサイト☆**

一般社団法人埼玉県物産観光協会

# ちょこたび埼玉